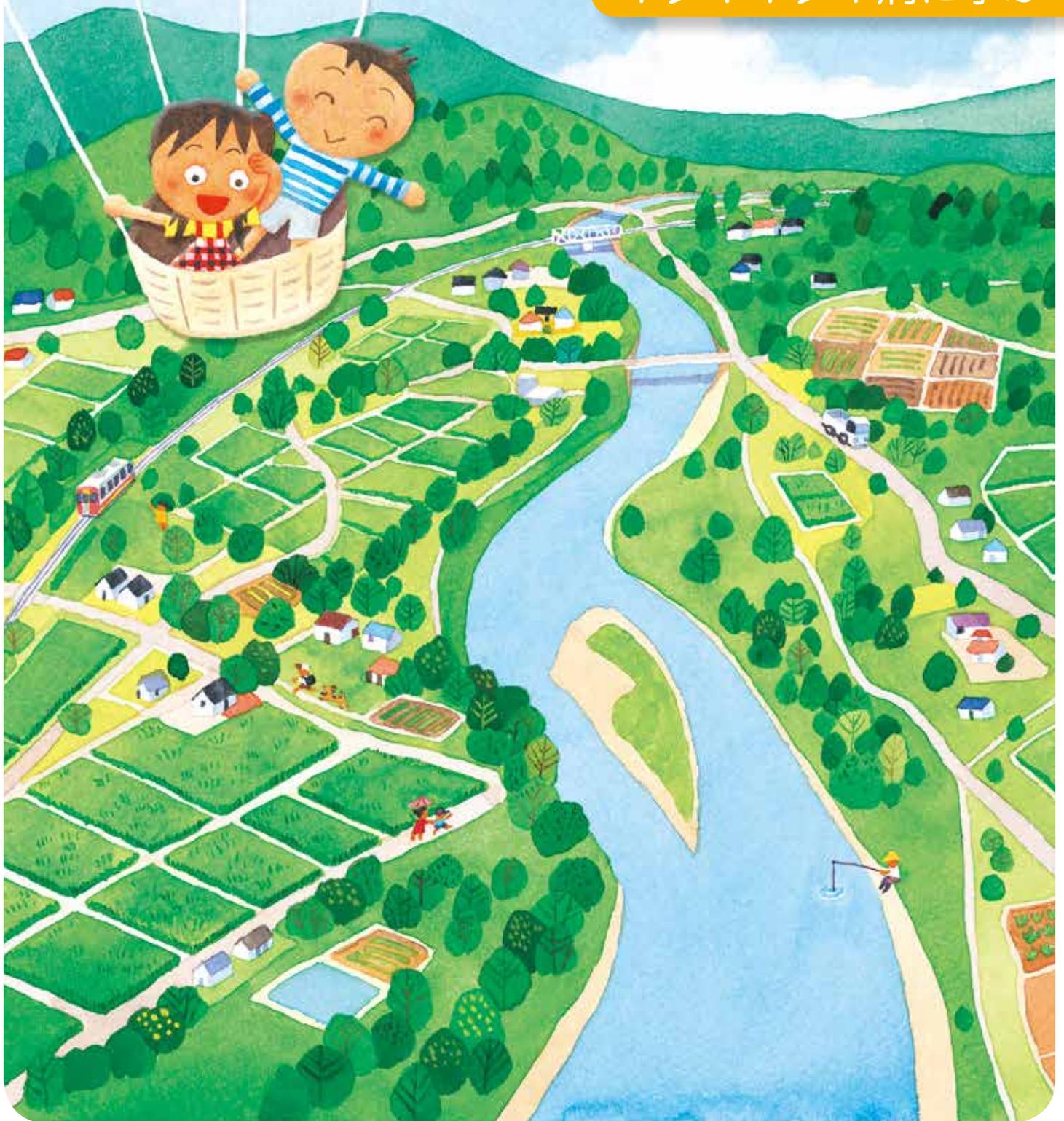


# よみがえった 美しい水と 豊かな大地

イタイイタイ病に学ぶ



# はじめに

とやま たてやま れんぼう きょうこく ゆた し ぜん めぐ  
富山県は立山連峰や黒部峡谷など、豊かな自然に恵まれた県です。そそり立つ山々からは清らかな水が生まれ、やがて川となって日本海に注ぎ込みます。富山県には大きな川が7本も流れており、きらきらと輝く川の風景は私たちの心のふるさとにもなっています。

これからこの冊子でお話していくのは、神通川という富山平野の中央部を流れる川の歴史です。「神様が通る」ともいわれた美しい川の流域で、腰が曲がったり足が変形したりする病気が発生し、長い間その原因がわからず多くの方が苦しみました。

この病気は「イタイタイ病」と名づけられ大きな社会問題となりました。やがて、神通川に流されたカドミウムという物質が原因であることが突き止められ、日本で初めて国から公害病として認められました。その後、被害にあった住民と原因となった会社が長い時間とお金をかけて努力し、今のようなきれいな川に戻っていったのです。

げんざい  
現在、イタイタイ病で被害にあわれた方々も歳をとって、昔のことをしっかりお話しできる人が少なくなりました。しかし、こうした歴史があったこと、そして住民たちが自ら立ち上がりその困難を乗り越えてきたことを、富山県に住む私たちは決して忘れてはいけません。

この冊子は、富山県の未来を背負うみなさんにイタイタイ病を正しく知ってもらいたくて作りました。どんなことを伝えるかについては、若い教育関係者のみなさんと何度も話し合いをしました。みなさんが、イタイタイ病を身近な問題として感じ、同じようなことを二度と起こさないために「何をすればよいのか？」を自分で考えられるような人になってもらえたら、とてもうれしいです。

イタイタイ病副読本作成メンバー代表  
とやまこくさいだいがく きょうじゆ みずかみよしゆき  
富山国際大学 教授 水上義行

## 登場人物



さくらのお父さん



さくら

東京から富山に遊びに来た小学5年生



けん  
と  
健人

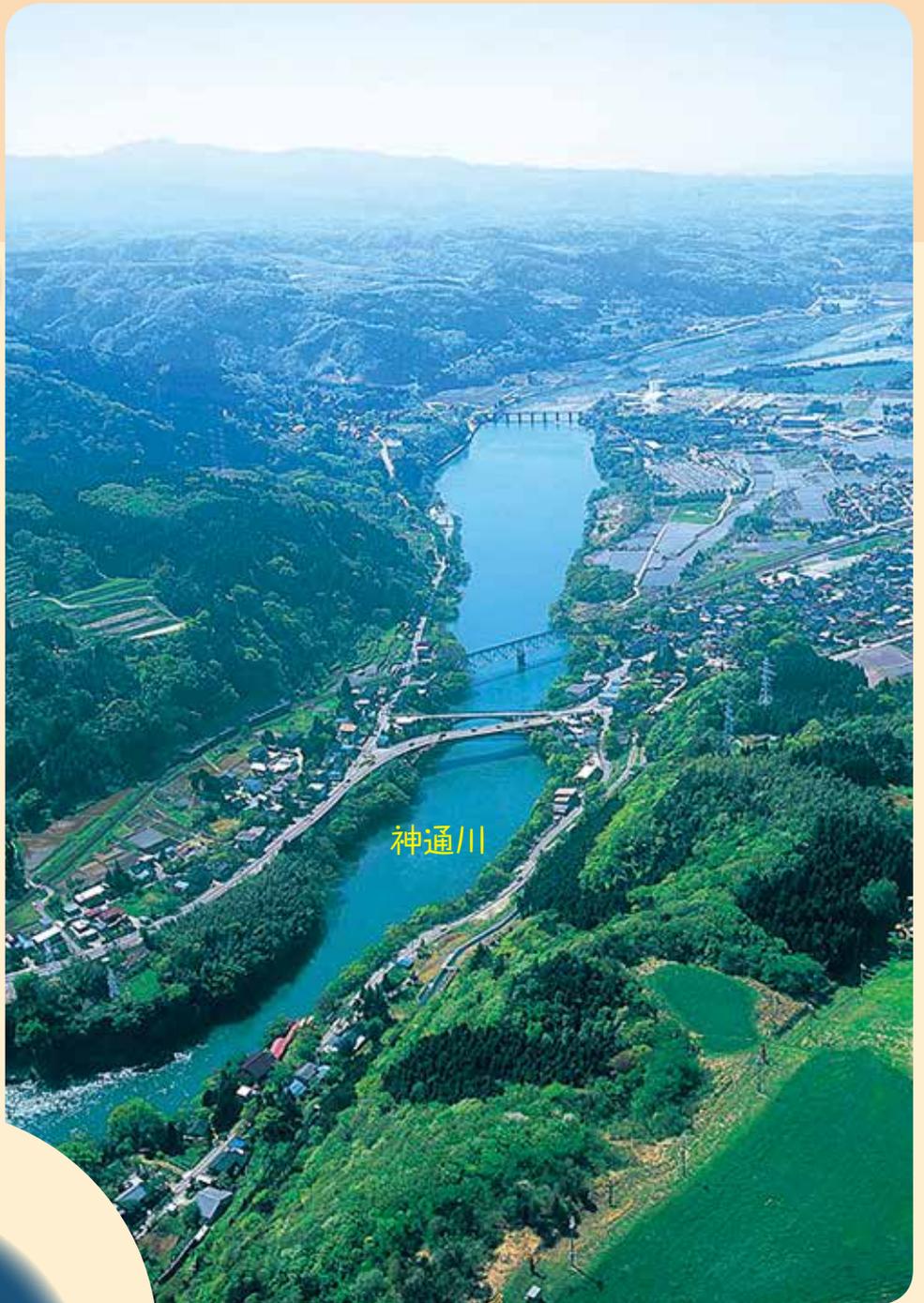
富山に住んでいる小学5年生  
さくらのいとこ



べ  
語り部さん

イタイタイ病の被害にあったおばあさんの家族

うわ〜!!すごい  
 険しい山の中に大きな川が  
 流れているわ。  
 富山県ってどんなところなの?



神通川

豊かな恵みを与えながら山間を流れる神通川



ココが富山県だよ



富山湾

富山県は 3000m 級の  
 北アルプスの山々に囲まれ、その麓には  
 扇形に富山平野が広がっているんだ。  
 山から流れ出す雪解け水が  
 富山湾に流れて行くよ。



## もくじ

富山の原風景って?	4	わたしたちの健康を守るには	16
のどかな村に起こった不思議な出来事	6	取り戻せ! 美しい水と大地	20
イタイタイ病の調査と裁判がはじまった	12		

# 富山の<sup>げん</sup>原<sup>ふう</sup>風景<sup>けい</sup>って？

## 美しい水田の広がる富山の大地

富山空港に<sup>ちやくりく</sup>着陸する<sup>ひこうき</sup>飛行機<sup>まど</sup>の窓から、キラキラと光<sup>あ</sup>を浴びて流れる<sup>じんづうがわ</sup>神通川と美しい水田が目に<sup>と</sup>飛びこんできました。東京では、見ることのできな<sup>こうけい</sup>い光景にさくらの<sup>えがお</sup>笑顔がはじけます。



お父さん見て！**なんてきれいな。**  
水田が緑のじゅうたんみたいね。



そうだね。  
でも昔は川の近くに住んでいた  
多くの人たちが  
**イタイタイ病**という病気で  
苦しんだんだよ。

**えーっ。**  
イタイタイ病で苦しんだって、どういうこと？



富山県立イタイタイ病資料館

神通川の上流から体に悪い<sup>こうどく</sup>鉍毒が流されて、たくさん  
の人がつらい病気にかかりました。

さくらは、そのことをくわしく調べるために、いとこ  
の健人と「富山県立イタイタイ病資料館<sup>しりょうかん</sup>」に行くこ  
とにしました。

→資料館の展示を見ながら読んでみよう。

行ってみよう!



いっしょに  
イタイタイ病資料館に行こう!

## 自然と共に生きるくらし

神通川の下流は、土がよく肥えていて米作りに向いている地域です。

人々は、それぞれの集落で助け合って、くらししていました。小川には、フナやメダカやドジョウがすみ、ホタルも飛んでいるのどかな農村でした。アユやマスを取って生活していた人たちもいました。春祭りでは豊作を願い、秋祭りには収穫に感謝し、日々の農作業のつかれをいやしました。

農業用水路は網の目のように作られ、神通川の水は下流へも広く送られ、おいしい米を育てていました。

また、古くから川の水を利用してスイカやウリを冷やしたり、ごはんを炊いたりしていました。

人々は、昔から神通川の水を農業や漁業、生活用水として大切に使っていました。



川の水を引き込んだ台所  
(1965 (昭和 40) 年ころ)

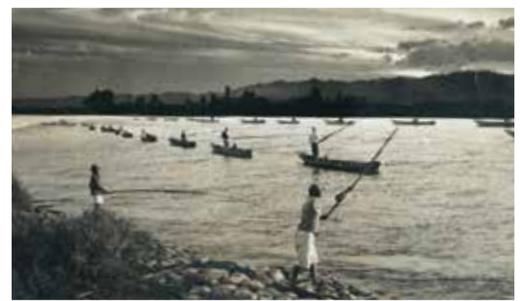


神通川の水を生活に使う  
(1965 (昭和 40) 年ころ)

昔は、  
川の水を直接  
飲んでいたのでよ。



農業用水路図 (国土地理院撮影空中写真 (1961 (昭和 36) 年撮影))



漁業する人たち (1955 (昭和 30) 年ころ)

今でも、アユ釣りのシーズンになると、多くの釣り人が集まるよ。  
神通川のアユは富山の名産品だったんだよ。



神通川は、どんなに日照りが続いても、  
かれることがなくて水田をうるおしていたんだ。



# のどかな村に起こった不思議

## 消えた清流

明治時代の終わりごろから神通川では、水が白く濁る、稲の育ちが悪くなる、川魚が死ぬなど、近くの熊野川や井田川にはみられない不思議なことが起こるようになりました。人々は何かがおかしいと感じていましたが、その原因が神通川にあるとは思わず、気候の変化や風水害のような自然現象のせいだと考えていました。

「今年は、変な年やちゃ」  
「大水のせいで、川が濁るのだろう」  
「水の取り入れ口を変えてみんまいけ」

川のそばに住む人々は、神通川を信じ切っていました。しかし、川の様子がどんどん変わってきていたので、不安になってきました。

稲の育ちに悪いことがあったみたいだね。育ちの悪い米は自分の家で食べていたようだよ。



水の濁りについて話合う農家の人



川魚が浮いて流れてきたり、手づかみできるくらい弱ってたというけど、気味が悪いわ。



川の水がおかしいと思っても、川の水を毎日の生活用水にしていたから、使わないわけにはいかなんだがやちゃ。



昭和の初めころの神通川流域の様子

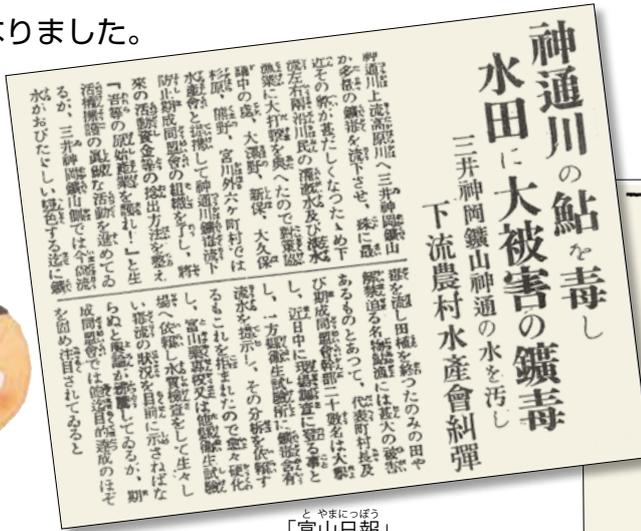
# な出来事



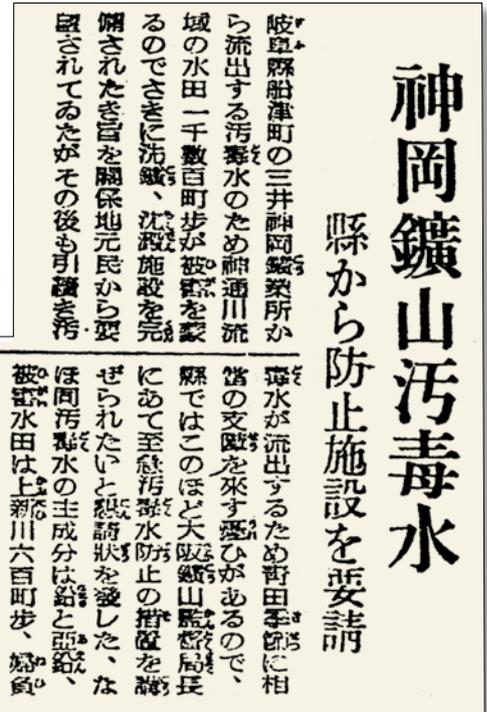
「神の通る」きれいな川は、  
いつの間にか人々に  
苦しみを与える川に  
なってしまったんやちゃ。

## この汚れはどこから？

神通川で起きた不思議な出来事のうわさはあっという間に広がり、新聞に取り上げられるようになりました。



川とともに生きてきた人たちは、  
目の前が真っ暗になるくらい  
ショックを受けただろうな…。



「北日本新聞」  
(1942 (昭和17)年7月23日)

記事を読むと、**鑛山**から出ている  
**鑛毒**の混ざった水が原因ではないかと書かれているわね。  
なんとか止めることはできなかったのかしら？



## コラム

### 日本有数の鑛山だった神岡鑛山

神岡鑛山は古くから人々に親しまれた“鑛山”で、発見・開発は、養老年間(717~724)といわれます。1874(明治7)年に三井組が開発をはじめました。最盛期の1976(昭和51)年には生産量が約190万トンで、日本有数

の鑛山でした。銀や銅をふくむ鉛(銃弾や水道管などに利用)や亜鉛(トタン板などに利用)を採掘・選鉱・製錬していました。鑛毒の被害は、この亜鉛生産の廃物によるものと考えられています。



神岡鑛山(1912(明治45)年)  
(『神岡鑛山写真史』より)

## 戦争と工業の急激な発達<sup>せんそう きゅうげき はったつ ひがい</sup>が被害を大きくした

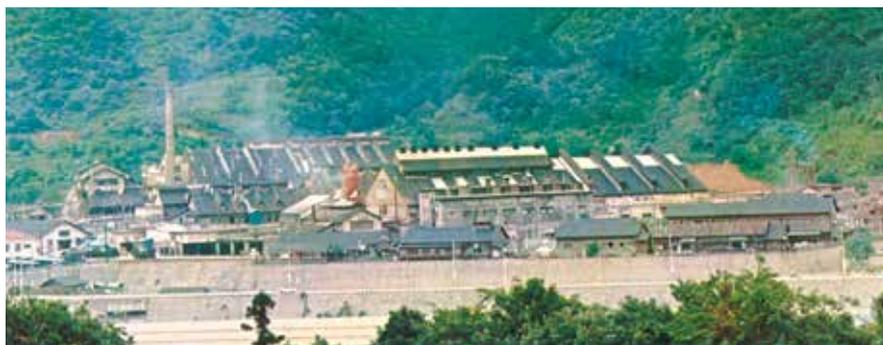
神通川のそばに住む農民<sup>じんつうがわ のうみん</sup>たちは、いろいろな方法<sup>ほうほう</sup>で<sup>こうどく</sup>鉛毒と被害<sup>かんけい</sup>の関係を調べて、国や県へ<sup>かみおかこうざん</sup>神岡鉛山<sup>さいくつ</sup>を採掘している会社<sup>こうどく</sup>に対して鉛毒を流さないようにしてほしいとお願い<sup>ねが</sup>していました。

### 建議書<sup>けんぎしょ</sup>（一部抜粋<sup>ぼつすい</sup>）

「しかして近來<sup>きんらい</sup>、神通川の上流<sup>じょうりゅう</sup>岐阜<sup>ぎふ</sup>県において神岡鉛山が事業<sup>じぎょう</sup>を行うに至<sup>いた</sup>って爾來<sup>じらい</sup>三〇有余年<sup>ゆうよねん</sup>を経<sup>へ</sup>たるが、同事業<sup>どうじぎょう</sup>が勃興<sup>ぼつこう</sup>するに伴<sup>ともな</sup>い同川<sup>どうせん</sup>灌漑<sup>かんがい</sup>地区<sup>ちくわ</sup>にして用水<sup>すいじょう</sup>と共に土砂<sup>つちさ</sup>の侵入<sup>しんにゅう</sup>する田地<sup>でんち</sup>は鉛毒のため稲作<sup>いねさく</sup>は登熟<sup>とうじやく</sup>を見ることあたわず。麦作<sup>むぎさく</sup>もまた完全<sup>ぜんぜん</sup>たる結果<sup>けつこ</sup>を収<sup>と</sup>ることあたわず。本件<sup>ほんけん</sup>唯一<sup>ゆいいつ</sup>の自給肥料<sup>じきつひりょう</sup>たる紫雲英<sup>しじゆんえい</sup>は全く<sup>ぜんぜん</sup>發育<sup>たつぷ</sup>を見<sup>み</sup>ざるに至<sup>いた</sup>り、同川区域<sup>どうせんくわい</sup>において耕作<sup>こうさく</sup>に従事<sup>じゅうじ</sup>する農家<sup>のうか</sup>はその被害<sup>ひがい</sup>を免<sup>まぬ</sup>れんがため種々<sup>しゅしゅ</sup>苦心<sup>くしん</sup>慘澹<sup>さんたん</sup>、幾多<sup>いくた</sup>の画策<sup>かくさく</sup>もその目的<sup>もくてき</sup>を達<sup>たつ</sup>せず全く<sup>ぜんぜん</sup>水泡<sup>すいぼう</sup>に帰<sup>かへ</sup>せり。ために従<sup>じゆ</sup>来<sup>らい</sup>鉛毒<sup>えんどく</sup>によりて被<sup>か</sup>りたる直接<sup>じやくせき</sup>損害<sup>そんがい</sup>と除害<sup>じよがい</sup>に投<sup>な</sup>じたる費用<sup>せきぎん</sup>とを積算<sup>せきさん</sup>せんかその額<sup>がく</sup>甚<sup>はなは</sup>だ大<sup>おほ</sup>なるものあり・・・なお、その被害<sup>ひがい</sup>拡大<sup>たいだ</sup>するの状況<sup>じやうきやう</sup>なれば、除害<sup>じよがい</sup>設備<sup>せつび</sup>に対し適<sup>てき</sup>当<sup>とう</sup>御<sup>ご</sup>調査<sup>ていさう</sup>の上<sup>うへ</sup>、設備<sup>せつび</sup>を講<sup>こう</sup>ぜしめられたし。右本会<sup>ごほんかい</sup>總會<sup>くわい</sup>の決議<sup>けつぎ</sup>を経<sup>けい</sup>、農法<sup>のうぽう</sup>第二<sup>だいに</sup>五<sup>ご</sup>条<sup>じょう</sup>により建議<sup>けんぎ</sup>候<sup>こう</sup>也」

会社<sup>かいしゃ</sup>は鉛毒<sup>えんどく</sup>の被害<sup>ひがい</sup>を認め、毒<sup>どく</sup>を取り除<sup>と</sup>く施設<sup>しせつ</sup>をもっと強化<sup>きやうか</sup>するようになりました。また、県<sup>けん</sup>も災害<sup>さいがい</sup>対策<sup>たいさく</sup>費<sup>ひ</sup>として補助金<sup>ほじょきん</sup>を出<sup>だ</sup>し、取水<sup>しゆすい</sup>口に沈殿池<sup>ちんてんち</sup>を作<sup>つく</sup>らせました。

しかし、戦争<sup>せんそう</sup>中<sup>ちゆう</sup>や戦後<sup>せんご</sup>の高度<sup>こうたう</sup>成長<sup>せいちやう</sup>期<sup>き</sup>には、工業<sup>こうぎょう</sup>の発達<sup>はったつ</sup>によって、亜鉛<sup>あえん</sup>の生産<sup>せいさん</sup>は増<sup>ふ</sup>えていきました。このため農作物<sup>のうさくぶつ</sup>への鉛毒<sup>えんどく</sup>被害<sup>ひがい</sup>はなかなかおさまらず、農民<sup>のうみん</sup>の抗議<sup>こうぎ</sup>に対して会社<sup>かいしゃ</sup>は、毎年<sup>まいねん</sup>補償<sup>ほしょう</sup>金<sup>きん</sup>を支<sup>し</sup>払<sup>はら</sup>って対<sup>たい</sup>応<sup>おう</sup>していました。



戦後の神岡鉛山の鉛鉛工場（『神岡鉛山写真史』より）



大正<sup>たいしやう</sup>9年<sup>ねん</sup>、上新川<sup>かみにいかわぐん</sup>郡<sup>ぐん</sup>農会長<sup>のうかいちやう</sup>の金岡又左衛門<sup>かなおかまたざ えもん</sup>が農商務<sup>のうしやうむ</sup>大臣<sup>だいじん</sup>と富山<sup>あて</sup>県知事<sup>いね</sup>宛<sup>宛</sup>に、「稲<sup>いね</sup>の生育<sup>せいよく</sup>の変調<sup>へんちやう</sup>は、神岡鉛山<sup>かみおか</sup>が流<sup>なが</sup>している亜鉛<sup>あえん</sup>が混<sup>ま</sup>じった土砂<sup>どしゃ</sup>が原因<sup>げんいん</sup>であり、鉛山<sup>えんざん</sup>経営<sup>けいぎやう</sup>者<sup>しや</sup>に対して除害<sup>じよがい</sup>施設<sup>しせつ</sup>を設<sup>せつ</sup>置<sup>ち</sup>するよう<sup>もと</sup>に求<sup>もと</sup>める」とうったえたんやちゃ。

この願<sup>ねが</sup>いは  
届<sup>とど</sup>いたのかな？



### 金岡又左衛門

1864（元治1）年、現在の富山<sup>しんじやうまち</sup>市新庄<sup>しんじやうまち</sup>町生まれ。家業<sup>かぎやう</sup>の売薬<sup>ばいやく</sup>業<sup>ぎやう</sup>をしながら政治家<sup>せいじか</sup>を志<sup>こころざ</sup>し、29歳<sup>さい</sup>で県会議員<sup>けんかいぎいん</sup>、31歳<sup>さい</sup>で衆議院議員<sup>しゆぎいん</sup>になり4回<sup>たい</sup>当選<sup>とうせん</sup>しました。その後、1929（昭和4）年、66歳<sup>さい</sup>でなくなるまで、電力事業<sup>でんりきじぎやう</sup>に力<sup>ちから</sup>を入れ、「水力発電<sup>すいりきでんぱん</sup>王国<sup>おうこく</sup>」富山<sup>ふやま</sup>のいしずえを築<sup>きず</sup>きました。



田んぼの入り口に沈殿池<sup>ちんてんち</sup>を作り、イネの發育<sup>たつぷ</sup>を悪<sup>わる</sup>くする細<sup>すな</sup>かい砂<sup>すな</sup>やド口<sup>しづ</sup>を沈<sup>しず</sup>め、きれいな水<sup>みづ</sup>を田んぼ<sup>でんぼ</sup>に送<sup>おく</sup>ります。

## 戦争中や戦後の工業の発達による亜鉛増産

1931（昭和6）～1945（昭和20）年の戦争中は、武器や飛行機、戦車などを作るために、亜鉛の生産が拡大していきました。その後、戦後の復興が進み、交通や産業が発達し、貿易が拡大した1960年代にも、神岡鉱山の生産量は増えていきました。



## 奇妙な病気に苦しめられる

大正時代、この地域に住む35歳から50歳くらいの女性に奇妙な病気がはやりはじめていました。

最初は、腰・肩・ひざ、やがて太ももや肩からひじに神経痛のようないたみがあり、病気が進むと、少し動いただけでも骨折したりズキズキとしたいたみが出たりしました。



腰が曲がったり  
足が変形したり  
している女の人が  
たくさんいたのね。  
写真を見ているだけでも  
なんだかいたいいたいわ。

動けず、タタミごと  
病院に運ばれる患者さん



胸部圧迫骨折で  
体に変形した患者さん



**患者の声1)** わずか数センチ、上へのぼるのにすごい身体や足がいたいのです。手はむこうに出るのですが、どうしても足が動かないのです。



**患者の声2)** ええ、胸に針が千本も二千本もさすようにいたいのです。それで、息をはくときはいいのですが、すうときにいたくて、やせるもこえるもおぼえんです。



**患者の声3)** 足の曲げ方でも、ちょっとでも余計に曲げたり、普通の時とちょっと違ったことをしたりすると、腰がちぎれるようにいたいのです。言われなくらいにいたいのです。



**患者の声4)** 顔にハエが止まっても追い払うこともできなかったのです。みんな宿命のように思って、この状態で死ぬしかないと思っていました。

こんなに苦しい思いをしている人がいるのに、

原因<sup>げんいん</sup>をつきとめたり患者<sup>かんじゃ</sup>さんを助けたりすることはできなかったの？

原因<sup>かみおかこうざん</sup>はすぐに神岡<sup>むす</sup>鉱山と結びつきそうだけど…



そのころは、まだ科学<sup>はつたつ</sup>が発達していなかったり  
公害<sup>こうがい</sup>という考え方がなかったから、  
原因<sup>ふめい</sup>不明の病気と考えられていたようなんだ。



## 原因<sup>おそ</sup>がわからない恐ろしい病気

このような症状<sup>しょうじょう</sup>の病気が世界にもほとんどなかったこともあって、当時の人たちは風土病<sup>ふうどびょう</sup>（その地域<sup>ちいきとくゆう</sup>特有の病気）や業病<sup>ごうびょう</sup>（悪い行い<sup>むく</sup>の報いとして受ける病気）と考えていました。

また、うつると治<sup>なお</sup>らない病気とされていたため悪い噂<sup>うわさ</sup>なども広がっていきました。



病気についてうわさする人たち

### ひがい 被害<sup>ひがい</sup> 1

地域<sup>ちいき</sup>の人は、患者<sup>かんじゃ</sup>のいる家に入ったりお茶をごちそうになったりしただけで「恐ろしい病気がうつる」と言っ  
て近づきませんでした。

### 被害<sup>ひがい</sup> 2

「あそこへおよめに行く  
と、不気味な病にかかる」  
と言って、この地域には  
およめに来る人が少なくな  
りました。

### 被害<sup>ひがい</sup> 3

家族に患者が出ると、そ  
れをかくそうと、雨戸を  
閉め切った部屋に閉じこ  
めて世話をしました。



いたみからアヒルのような歩き方をする患者さん

## 医療<sup>いりょうひ</sup>費が増えて、家計は火の車

患者の多くは、子どもがいる農家の母親でした。ねたきりになると家事が  
できなくなり、看護する人も必要になります。また農作業をする人も減るので、  
人手<sup>ひとて</sup>不足となり、農作業は困難<sup>こんなん</sup>になりました。また、医療費もかさむため、患  
者の家族は経済的に苦しい生活をしいられることになりました。

コラム

はり  
針がささるようないたみに苦しむ患者さんはもちろん、  
ねたきりになった患者さんの身の回りの  
お世話をする家族も大変なのに…。  
どうしてまわりの人は差別するの？



原因がわからないから、  
変なうわさが流れたりしたんだろうね。



そういう悲しいできごとが、  
このあたりには何十年もの間  
あったんやちゃ。

→資料館では語り部さんの話も聞けるよ

きいてみよう!



### イタイイタイ病資料館の語り部さんの話

患者の家族や、イタイイタイ病の裁判にかかわったイタイイタイ病対策協議会のメンバーなどが語り部として登録しています。「イタイイタイ病が忘れ去られないように」と、当時の様子や裁判などについて話してくれます。

## ついに病気が社会問題になった

そんな中、この問題を大きく取り上げる新聞記事が1955（昭和30）年8月4日に掲載されました。熊野村（現在の富山市婦中町）の萩野昇医師が、イタイイタイ病のことを世の中の人に伝えたのです。

イタイイタイ病という名前は、看護をしていた人が患者のことを「いたいたいさん」と呼んでいたことから名づけられました。この新聞記事をきっかけにしてイタイイタイ病は、多くの人に知られるようになりました。



イタイイタイ病患者を診察する萩野医師



イタイイタイ病のことが初めて報じられた新聞記事（富山新聞 1955（昭和30）年8月4日）

#### 萩野昇（1915（大正4）～1990（平成2））医師

1915年、開業医の長男として生まれました。地元でイタイイタイ病の患者と出会い、病気の原因がカドミウムであることを明らかにしました。

# イタイイタイ病の調査と裁

## 病気の原因がつきとめられた

イタイイタイ病の患者さんは、人目を気にしながら、激しい痛みをじっとこらえて苦しみながら死んでいきました。

地元の萩野医師は、患者さんを救おうと病気の原因を調べはじめました。苦しむ患者さんを助けるために10年間も研究しましたが、つらいことも多くありました。

また、国でも研究が行われ、イタイイタイ病の原因がカドミウムであるという結論が出されました。

萩野医師も地元の人もどっちも苦しかったでしょうね。



富山地方裁判所の法廷

## 萩野病院に石を投げる被害住民

患者やその家族の中には、自分たちの病気が他の人に知られると偏見や差別などを受けるため、かくしておきたいと思う人もいました。そのため原因調査を進める萩野医師をこころよく思わず、病院に石を投げる人もいました。

## イタイイタイ病原因調査への取組み

年月	出来事
1946 (昭和 21) 年	萩野医師が研究をはじめます。
1957 (昭和 32) 年	萩野医師が、イタイイタイ病が神岡鉱山から流される鉛、亜鉛などに原因があるという鉱毒説を発表する。
1961 (昭和 36) 年	萩野医師・吉岡金市博士が、イタイイタイ病の原因はカドミウムであると発表する。その後、多くの学者の研究により、イタイイタイ病の原因は三井金属鉱業の神岡鉱業所から出されるカドミウムであることが証明される。
1966 (昭和 41) 年	イタイイタイ病対策協議会が結成される。
1967 (昭和 42) 年	協議会に結集した被害住民が、三井金属鉱業に補償要求の行動を起こす。
1968 (昭和 43) 年	厚生省 (現：厚生労働省) がイタイイタイ病の原因はカドミウムであると結論を出す。

萩野医師は、同じような年代の女性がいたがっているのを不思議に思っ原因を調べたのね。



国も原因がカドミウムと認めたよ。



## イタイイタイ病対策協議会

1966 (昭和 41) 年に、イタイイタイ病の被害者や家族が結成した団体です。当初は182世帯で裁判を戦いましたが、判決後はすべての被害者世帯が参加して患者救済、イタイイタイ病根絶、公害防止の運動を進めています。

# ばん判がはじまった



## ついに立ち上がった住民たち

イタイタイ病が発生してから、地元では苦しみな  
がら死んでいく人がでたり、農業や漁業に大きな被害  
を受けたりしてきました。しかし、原因がカドミウム  
であることがはっきりすると、それまで苦しみ、あき  
らめていた人たちが<sup>だんけつ</sup>団結し、会社に  
<sup>ほしょう</sup>補償をしてもらお  
うと立ち上がりま  
した。



厚生省がイタイタイ病を公害病と認める  
(北日本新聞 1968 (昭和 43) 年 5 月 9 日)



イタイタイ病の原因がわかって、  
住民も一つになって戦おうという  
ゆうき  
勇気がわいたんだね。

住民たちは、それまで受けた苦勞や出費<sup>くろう しゅっぴ</sup>に対して  
せきにん みと  
責任を認めてもらおうと立ち上がったんやちゃ。



裁判を起こすって大変そう。  
すごい勇気が必要<sup>ひつよう</sup>だったと思うわ。



裁判にむけて話し合いをする住民たち (1966 (昭和 41) 年)

しかし、被害住民の補償要求<sup>ようきゅう</sup>に対して、三井金属鉱業は「イ  
タイタイ病の原因が当社にあることを国が認めるまでは、  
お金を払いません」と<sup>つた</sup>伝えました。

こうした会社に被害住民はおこって、1968(昭和 43) 年  
3月、富山地方裁判所<sup>とやまち ほうさいばんしょ</sup>に裁判を起こしました。



三井金属鉱業は自分の<sup>せきにん</sup>責任を認めなかったんだ。  
住民の人たちはくやしきだったろうね。

## 多くの人たちで勝ち取った裁判<sup>さいばん</sup>

裁判は日本全国の人たちからの<sup>おうえん</sup>応援ももらって、1971（昭和46）年6月30日に公害裁判としては初めて被害住民が勝利しました。そしてその後の控訴審も被害住民側が全面勝利しました。

この裁判には、住民506人が参加しました。弁護団は全国から集まった20人の弁護士で結成され、その後は300人を超えるまでになりました。

裁判をしている間、周囲からは被害住民に対して「裁判をしたら米が売れなくなる」「およめさんが来なくなる」などの非難がありました。しかし、「裁判に負けたら地元に住めなくなる」という気持ちで、人々は必死で裁判を戦いました。



全面勝利を喜ぶ人々



裁判に勝てて、  
本当にうれしそうね。

被害住民は、どのようにして全面勝利を勝ち取ったのか、その取組みを振り返ってみよう。



### イタイイタイ病裁判の流れ

年月		できごと
1968（昭和43）年	1月	イタイイタイ病訴訟弁護団が結成される。
	3月	イタイイタイ病第一次訴訟の手続きをする。（富山地方裁判所）
	5月	厚生省（現：厚生労働省）がイタイイタイ病を公害病と認める。
1969（昭和44）年	3月	当時の婦中町など県内23町が訴訟支援を決める。
1971（昭和46）年	6月	イタイイタイ病第一次訴訟全面勝訴する。三井金属鉱業が控訴する。
	9月	控訴審がはじまる。（名古屋高等裁判所 金沢支部）
1972（昭和47）年	8月	イタイイタイ病第一次訴訟控訴審で完全勝訴する。

### 控訴審 — 2度目の判決も全面勝利 —

裁判で1回目の判決に不満があるとき、もう一つ上の裁判所で裁判をすることができます。そのため、三井金属鉱業は、1回

目の判決を不満とし、もう一つ上の裁判所での判決を求めました。しかし、そこでも被害住民の勝訴となりました。

## 原因を作った会社と交わした3つの約束

裁判が終わった次の日、被害者を助けていくことと汚染された農地の復元のために「患者に対する損害賠償」、「汚染土壌の復元」、「公害防止」の3つについて被害住民と三井金属鉱業の間で取り決めを行いました。

### 要観察者

正式にイタイタイ病の患者として認められていなくても、将来イタイタイ病になる可能性がある者のこと。

### 汚染土壌の復元

汚染された水田の土を取り除き、安全な土を入れること。その工事は1980(昭和55)年10月からはじまりました。

### 公害防止協定

二度と公害を起こさないようにするために、住民が原因を作った会社の工場に立ち入り、調査を行う権利を得ました。



判決の翌日に行われた交渉の様子



原因を作った会社との交渉の結果、イタイタイ病のすべての患者さんと、要観察者の人たちに賠償金が支払われることが約束されたんだよ。



3つの約束を交わした誓約書と協定書

会社も公害防止に前向きに  
取組みはじめたのね。



### 三井金属鉱業の努力

裁判が終わった後、三井金属鉱業は排水設備の改善や増強のほか大型の貯水槽を設置するなど、これまでに200億円以上を

かけ、公害防止に真剣に取り組んできました。そうした気持ちや行動が、今日では被害者団体に認められはじめています。



# わたしたちの健康を守るには

## カドミウムは人間にとって悪いもの？

カドミウムは、もともと自然界にあるものですが、人の体に入ると腎臓の働きをさまたげてしまい、骨がもろくなってしまいます。けれども、どうしてカドミウムがそうさせるのかについては、まだわからない部分があり、今も研究が続けられています。

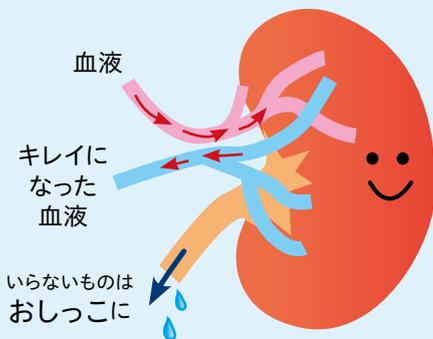
うーん...?



カドミウムはどうやって人の体を悪くしてしまうのかしら？

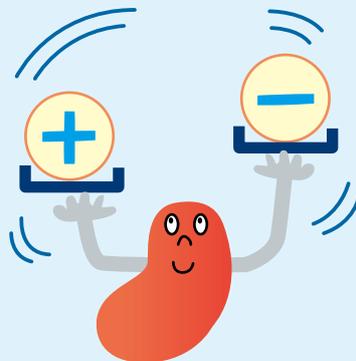
健康な体の腎臓をみてみましょう。腎臓の働きは、次の5つにまとめられます。

1 血液をきれいにし、いらぬものを捨てる



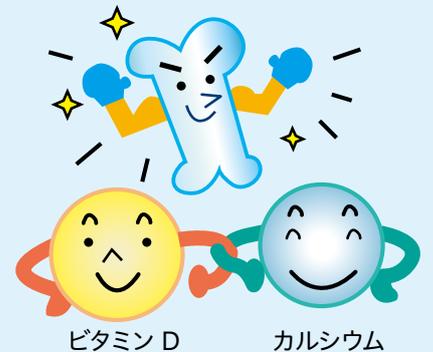
おしっこを作るんだよ。腎臓で血液の中のいらぬものをこし取ります。

2 ミネラルのバランスを整える



体の中に必要な水分の量や栄養、塩分を整えます。

3 強い骨を作る



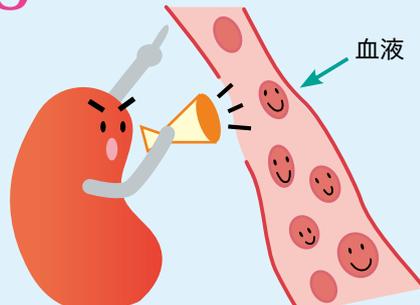
骨を作るカルシウムを体内に吸収させるために必要な活性型ビタミンDを作っています。

4 血圧を調整する



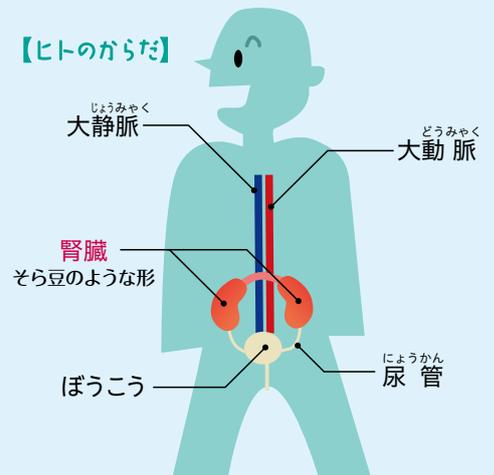
水分や塩分を調整して血圧を下げたり、上げたりしています。

5 血液を作る命令を出す



ホルモンを出して血液のもと(骨髓の中の細胞)に、血液を作るように命令を出しています。

【ヒトのからだ】



カドミウムが人間の体に入ると、腎臓の働きが悪くなり、強い骨が作れなくなってしまいます。そのため、骨はもろくなり、ちょっとしたことで折れてしまうようになり、いろいろな病気を引き起こす原因<sup>げんいん</sup>になります。

→資料館の「さわれる展示」<sup>てんじ</sup>、「のぞける展示」のコーナーに行ってみよう。

さわってみよう!  
のぞいてみよう!



健康な骨と「骨粗しょう症<sup>こつそしょうしやう</sup>（骨の密度<sup>みつど</sup>が低くなる病気）」や骨軟化症<sup>こつなんか</sup>「骨がやわらかくなる病気」の骨<sup>くろ</sup>を比べてみましょう。

じっさいに骨の拡大画像<sup>かくたいがざう</sup>を見たり、骨を持ってみると、健康な人の骨と、骨粗しょう症<sup>こつそしょうしやう</sup>の骨の違<sup>ちが</sup>いがあるよ。

《健康な背骨<sup>せぼね</sup>》



健康な骨の拡大写真を見て  
スケッチしてみよう

《骨粗しょう症の背骨》



骨軟化症<sup>こつなんかしやう</sup>の骨の拡大写真を見て  
スケッチしてみよう

イタイタイ病は、腎臓がダメージを受けて、骨がもろくなる病気だということはわかったね。



どんな治療<sup>ちりやう</sup>をするの？



骨の治療には活性型ビタミンDという薬が使われています。でも悪くなってしまった腎臓を元にもどすことは今のところできません。薬での治療のほかに、リハビリテーションなども行なわれています。



イタイイタイ病か  
どうかは、どうやって  
決めるのかしら？

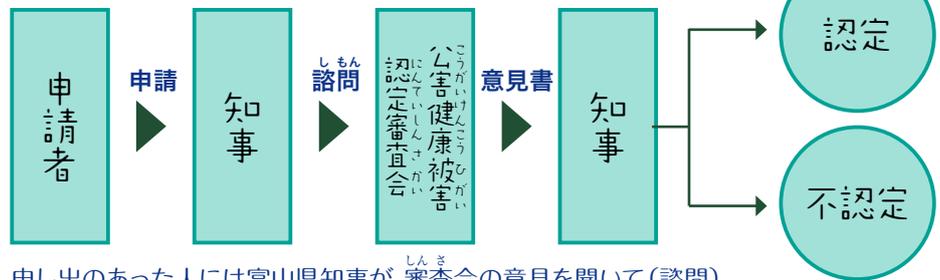
病気の認定には、  
条件が決められている  
みたいだよ。



## 患者として認定されるためには？

現在は法律にもとづき、富山県が「イタイイタイ病の患者」の認定をしています。認定されれば、原因を作った会社から医療費が支払われます。また、将来、イタイイタイ病となる可能性のある人は要観察者（P.15）と判定され、同様に会社から医療費が支払われます。

イタイイタイ病患者が認定されるまで



申し出のあった人には富山県知事が、審査会の意見を聞いて（諮問）判断します。イタイイタイ病患者と認められるには、以下の4つの認定条件すべてに当てはまる必要があります。

## コラム

### 患者認定されるための4つの条件

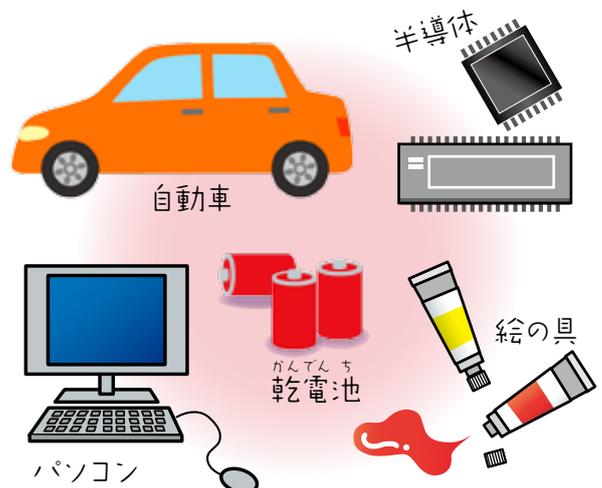
- ① カドミウムにひどく汚染された地域に長く住んでいて、カドミウムをふくむ食物や水を食べたり、飲んだりした経験があること。
- ② 生まれつきのものではなく、大人になってから症状がみられるようになったこと。
- ③ 尿細管障害（腎臓の病状）がみられること。
- ④ 骨粗しょう症をとまなう骨軟化症がみられること。

## まめ知識

### 生活のなかで使われているカドミウム

カドミウムは、垂鉛などの鉱物や土の中にある金属です。やわらかく他の金属をサビにくくすることから、自動車のめっき材料や絵の具（カドミウムレッド、カドミウムイエロー）、電池やコンピュータに使われる半導体、液晶テレビなど私たちのくらしのなかでさまざまに使われています。イタイイタイ病の原因としてカドミウムが有害であることが分かってから、その使用については、食品や容器、おもちゃなど種類ごとに法律で細かい基準が定められています。

しかし、人体に及ぼす影響があることには変わりません。便利な工業製品として使われているカドミウムに対する研究は、今後も続けていかなければなりません。それを教えてくれたのは「イタイイタイ病」なのです。



## かくほ 安全な水を確保する

イタイイタイ病が広がったのは、カドミウムに汚染された川の水を飲んだり、ごはんを炊いたりしたためでした。1960年ころからは住民の要望を受けて上水道が整備されるようになりました。



「朝日新聞」富山県版  
(1961(昭和36)年11月25日)

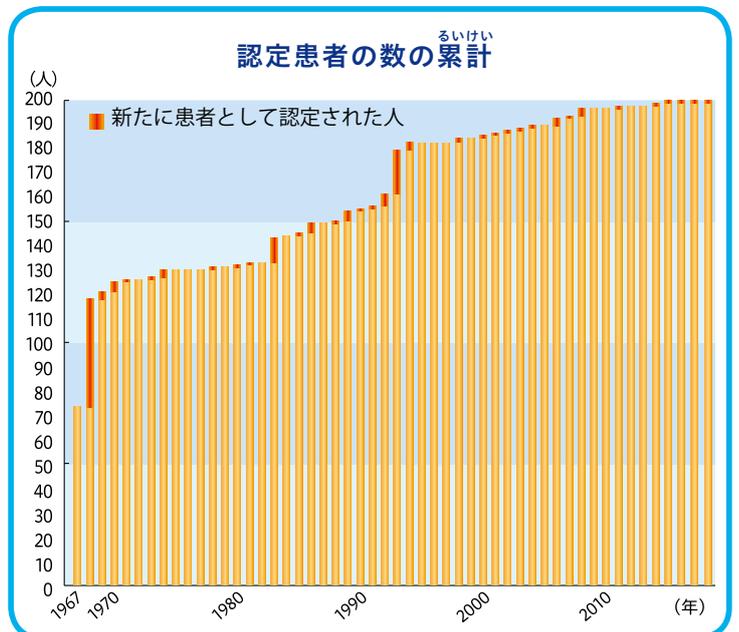
ぼくたちが当たり前  
使っている水道は、  
当時の人々にとって、  
命を守る手段でもあったんだね。



生活に使われていた昔の用水

## げんしょう イタイイタイ病は減少しても

萩野医師が「イタイイタイ病」のことを広く伝えてから半世紀以上が経過した現在、患者と認定された人は200名です。そのうち、生存者は4名となりました(2018年12月末現在)。年月とともに被害にあわれた方々は高齢となり、当時の様子を伝える人は少なくなりつつあります。イタイイタイ病の歴史を忘れられないようにし、新たな公害病を生みださないようにすることが大切です。



# とりもどせ！美しい水と大地

## 40年間続く「立入調査」

こうして、人々を長い間苦しめてきたイタイイタイ病の原因がわかりました。また、工場などの施設でカドミウムに汚染された場所もはっきりしてきました。しかし、雨が降ると鉱山から雨水といっしょにカドミウムをふくむ汚れた水が流れ出る可能性もあります。そうならないよう

汚染地域マップ



富山湾 カドミウムに汚染された農地 (農用地土壌汚染対策地域)

※市町村名は2005(平成17)年の市町村合併前のものです。

カドミウムで汚れてしまった水と大地はきれいになるの？



きれいにするのは大変だけど、いろいろな取り組みが行われているんだ。

にしっかりチェックし、神通川のそばに住む人々が安心してらせるようにしなければなりません。住民たちは神通川にふくまれるカドミウムの濃度を自然の濃度に戻すことを目標として神岡鉱山への立入調査を行っています。

### コラム

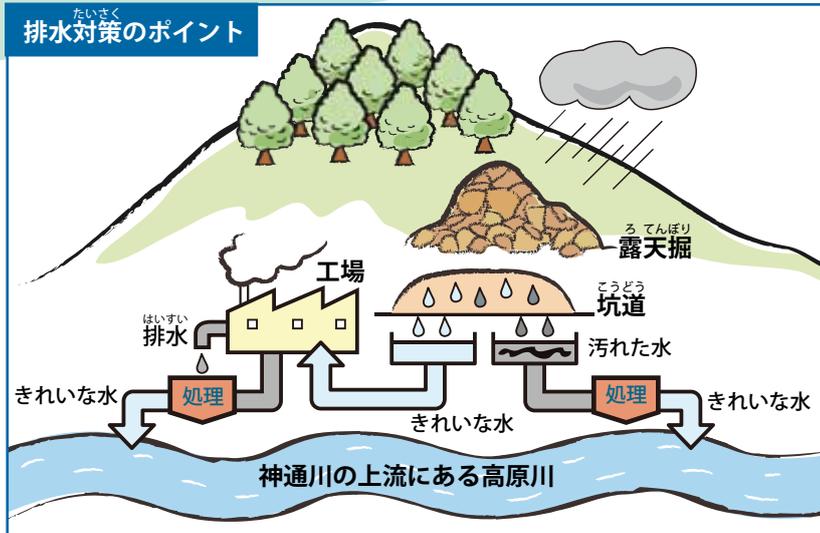
#### 立入調査の種類

毎年1回、住民がさまざまなコースにわかれて行う「全体立入調査」、住民のなかから選ばれた専門委員が行う「専門立入調査」があります。



住民による立入調査

排水対策のポイント



鉱山から出てくる水には、カドミウムを多くふくむ水（汚れた水）と、カドミウムをほとんどふくまない水（きれいな水）があり、これらを分離することが重要です。きれいな水は工場に使われ、汚れた水は適切に処理してから、川に流されます。

この立入調査は、裁判が終わってから40年たった今も行われています。汚れた水がどのようにして流されたのか、汚れた水が二度と流れないようにしてあるかを何度も調査してきました。話合いも数え切れないほど行われました。第1回からの立入調査の参加者は、約6,000人にもなります。

その他、鉱山の工場から出るけむりで荒れた山には、木をたくさん植えました。

こうした努力を長い間続けてきた結果、神通川のカドミウム濃度は、自然の数値まで下がり、美しい流れがよみがえりました。

木を植えると、川の水がきれいになるんだよ。



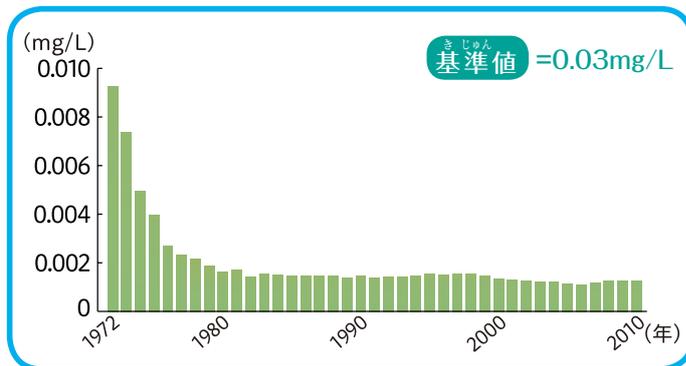
植林された山

今は神岡鉱山で亜鉛や鉛の採掘は行わず、輸入した鉱石や廃バッテリーを原料に製品を作っています。

立入調査もていねいにやっているんだね。みんながいっしょけんめい取り組んできた様子が少しわかってきたよ。まずは、汚水の調査と対策だ。



排水にふくまれるカドミウムの量



すごく減ったのね。これならカドミウムは流れこんでないわね。

コラム

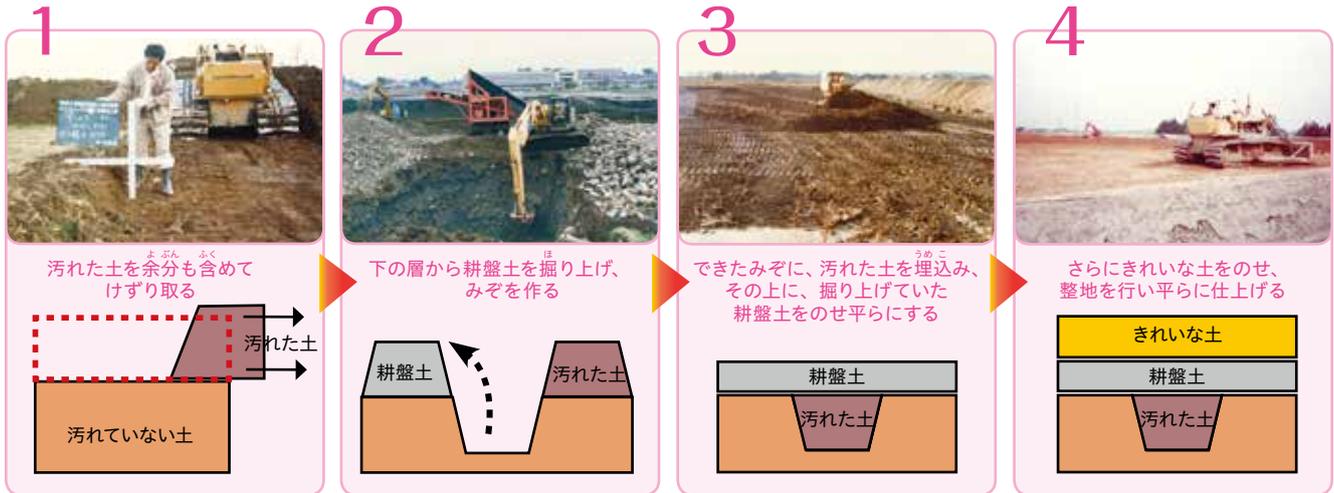
日本人の食とカドミウム

カドミウムは自然の土や水にわずかにふくまれているので、米や野菜、魚や肉にもふくまれています。日本人は「米」を主食にしているため、カドミウム摂取量の約4割が米からといわれています。

## きれいな農地への再生さいせい

まずカドミウムで汚れてしまった土をけずり取って、みぞに埋め込み汚染された土からカドミウムが上がってこないように耕盤土という土でブロックします。その上に別の土地から運んできたきれいな土をのせます。こうすることで安全なお米を作ることができる大地に生まれ変わります。

二つ目は、新しい土を入れる作業だ。



うわあ、これは大変!!  
汚染された土地は  
約 **1,680** ヘクタール。  
小学校の 200 mトラックでいうと  
約 **6,600** 個分もあるんですって!



どじょう ぶくげん  
土壌の復元作業は富山県が主体となって行ってきたんだよ。これだけの広さで行ったのは全国でも例がないんだって。復元作業の後、稲の生育調査を3年続けたんだよ。そうしないと心配だからね。

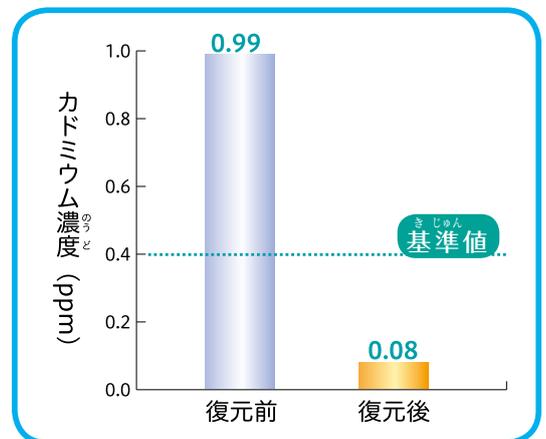


こうして、神通川には清流が戻り、流域では、再びおいしいお米が作れるようになりました。



再生した神通川流域の田んぼ

玄米にふくまれるカドミウムの量



カドミウムは、ほとんどなくなったんだね。





しりょうかん  
資料館を見学してみて、  
どんなことを感じたかい？



たいへん  
大変な作業や大きな工事を何十年も続けてきたことがよくわかったわ。  
ところで、わたしたちはこれからどうしたらいいの？



よみがえった神通川

今日学んだことをいろいろな人と話合ったり、  
大人になったら自分の子どもに話したりして、  
こうしたことが忘れられないようにすることが  
大事だと思うよ。  
身近な環境を守るためにひとりひとりが  
自分のこととして考え、  
必要な取組みをすることが何よりも大切だね。



ひがい げんいん  
うん、被害者と原因を作った会社、富山県が  
みんなで力をあわせて  
病気のつらさを克服し、美しい水と大地を  
取り戻してきたことを忘れないよ！



## イタイタイ病副読本作成メンバー

水上義行 (富山国際大学 教授)  
干場正行 (富山市立堀川小学校 校長)  
松浦 悟 (富山市立奥田小学校 教諭)  
石田和義 (富山市立水橋中部小学校 教諭)  
三原 茂 (富山市立八尾小学校 教諭)

(平成 24 年 3 月現在)



## 富山県立イタイタイ病資料館

〒939-8224 富山市友杉 151 番地 (とよま健康パーク隣接)  
TEL : 076-428-0830 FAX : 076-428-0833  
ホームページ : <http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/>  
開館時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00

みんなも  
「富山県立イタイタイ病資料館」  
へ行ってみてね！  
イタイタイ病のことが  
くわしく知ることができるよ！  
展示を見たら、感じたことを  
「メッセージコーナー」で発表したり、  
話し合ったりしてみてね。



発行 平成 24 年 3 月 (平成 31 年 3 月版)  
富山県

### 参考文献

イタイタイ病のはなし (イタイタイ病対策協議会) / 富山県史 / 富山大百科事典 (北日本新聞社) / 定本カドミウム被害百年 回顧と展望 (松波淳一 桂書房)

### 制作

株式会社 乃村工藝社

写真提供 : イタイタイ病対策協議会、井上哲郎 (浜松医科大学名誉教授)、神岡鉱業株式会社、  
富山漁業協同組合、林 春希 (50 音順・敬称略)

協力 : イタイタイ病対策協議会 (敬称略)

デザイン : 株式会社 アートポスト イラストレーション : 金 斗 鉉

年	組	番
名前		

資料館のスタンプを  
お押ししてね